

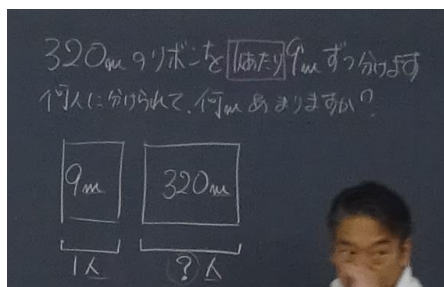


パーを入れる

2025/5/20

No.41

岩渕和信



4年生の算数。「320mのリボンを1人あたり9mずつ分けて、何人に分けられて、何mあまりありますか？」

質問が2つもある問題に挑戦です。図で考えます。

「まず1あたり量が」「人！」

「ですねえ。そうするとここも『人』で、どうなるんだろ」

「ハテナ！」

「そうだよね。今回は『何人に分けられて』だから、いくつかのところがわからないから、ここが、ハテナ人っていうことになります。で、次どれいこうか？」「え、じゃあ、全体量」

「はい全体量いこう。何になる？」「320」

「オッケー、320？」「メートル！」

「320m。ということは、どこ次書く？」

「1あたりの上？」

「ここが？」「9m」

「はい9m。ここで単位の確認。横であってるかな？」「よし！」

「さて、最後に必要なのは？ここが3年生と違うかな」「え？・・・あ、パー／人」

「そう、ここを入れてほしい。／人、どこに入れる？」「はい！320mの所」

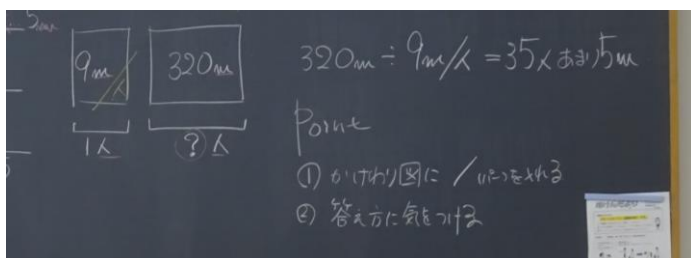
「に、／人を入れる」「え？ちがーう」

「／ってどういう意味だっけ？」「1あたり、・・・だから」

「そう、1あたりが／ですよ」「あー、9mの下か」

「そうですよ、ここに書いて下さい。ここに書けば式にしたときに忘れません。」

このあと、仲間と確認しながら式を立てて、計算をしました。



学び手が真に必要なものは教科書ではなく、本気で没頭でき、温かく、共感的で、知的に取り組もうとする学習環境である。(アランJ. ピショップ)